

三原の歴史を訪ねる

歴史あふれるまちがここにある ― 三原 ―

三原市は、御年代古墳をはじめとする縄文・弥生・古墳時代の遺跡が数多く残されていることからわかるように古くから人々の生活が営まれ、近畿と九州を結び四国と連絡する海上交通の要衝として栄えました。

平安時代には、楽音寺や一九六七年まで続いた杭（久井）の牛市など今に続く歴史資源が創設されたほか、沼田荘や杭の荘などの荘園が経営され穀倉地として栄え、鎌倉時代から戦国時代にかけては、小早川氏が台頭し、樓真寺や佛通寺が創建されたほか、棕梨城・高山城や新高山城が築城されました。

そして、戦国武将毛利元就の三男で竹原小早川氏の養子となった小早川隆景が、十七代当主として沼田小早川氏を相続し、両小早川氏を統する、一五六七年に三原に築城し、現在の三原市の礎を築きました。

その後、小早川氏以後、福島氏、浅野氏の城下町として繁栄して明治維新を迎え、明治時代以降は、三原地域は工業都市として、本郷久井大和地域は米作地域として発展し、近年は、陸海空の高速交通の結節都市としての役割も果たしています。



三原城跡（国史跡）



小早川隆景が五六七年、交易路として多くの商船が往来する瀬戸内海を制することを目的に、沼田川河口の大島と小島を石垣つないで築いた城。

当時の規模は、東は和久原川から西は現在の臥竜橋付近までありこの中に本丸、二之丸、三之丸、そして二層の隅櫓三十二、城門十四があったといわれ、満潮時に城の姿が海に浮かぶように見えたとから「浮城」と呼ばれた。

築城以来度も兵火の経験を持たず、小早川氏以後福島氏、広島藩浅野氏の支城として栄えるが、八九四年、本丸を貫いて山陽鉄道が開通し、城郭のほとんどが壊され、今はJR三原駅北隣の天主台をめぐり、市民福祉会館東側の船入橋跡と船入跡・ペンシヲ三原西館西隣の本丸中門跡の石垣と堀、和久原川にかかる神明大橋南側にみられる刎水の流れた鋸刃状の構造物などが昔の名こりをとどめている。

25 糸崎神社

神功皇后が西征の帰途に舟を寄せた際に水を献じたという故事から、この水を長井の水という。この地を長井浦または井戸崎・糸崎という。郡を水調御調と称した縁により七二九年に宇佐八幡宮の祭神をまつて建立されたと伝わる由緒ある神社。神門（市重要文化財・三原城侍屋敷門）クスノキ（市天然記念物）

万葉の歌碑
石碑 漢詩人梁川星巖
記念碑「船つなぎの松」（神社西約五m）

18 大善寺（浄土宗）

高山城の麓にあり、小早川隆景が菩提所同様（信仰していた）が一五八〇年・三原城築城に伴い、現在地（西町）に移される。檀崎正員の墓（県史跡）

浅野四代忠義の生母月溪院の墓所
法曹界の大御所花井卓蔵の墓所
本堂屋根瓦 葵の紋所
葵の紋所大段幕

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

1 龍怒神社

二六九年、和歌山新宮城主浅野氏が熊野水軍を引き連れ三原城へ入城したとき、熊野水軍が崇拝していた熊野新宮を現在地（東町）へ移される。

2 極楽寺（浄土宗）

二二七三年、本郷町船木の極楽谷へ開山。三原城築城の時、糸崎神社裏糸崎谷へ移され、二六三七年、浅野氏の家臣たちによって現在地（東町）へ移される。

3 松寿寺（曹洞宗）

三六五年、本町成就寺後方に創建。五九一年、妙正寺建立に伴い、現在地（東町）へ移される。

4 観音寺（時宗）

本尊が十二面観音菩薩で、この仏像が一〇五八年頃豊田郡高崎沖に出現し、その後沼田に移して安置されていたものが三七八―三八七七年頃、一遍上人の目にとまつたことから、小坂町水無谷に道場を建立し、この仏像を本尊として創立。

5 地藏堂（非公認）

浪人荒木助市が紀州より持ってきた本尊を安置して建立。境内には、二六七五年に三原で起った飢饉で亡くなった民衆をまつる供養塔がある。

6 専福寺（浄土真宗）

小早川隆景の有力な武将であった末近四郎三郎信實ゆかりの寺として尾道市（御調町津蟹に臨濟宗佛通寺派としてあったが、真宗が布教され改宗する寺院が統出、この寺も五九七一年に改宗し、現在地（東町）に移った。

7 浄栄寺（浄土真宗）

小早川隆景侍臣石川彦左衛門が戦に倒れる者や病に苦しむ者たちを見るにつけ、出家して二五九九年に現在地へ草庵を建立。一六六二年、宗徒・領民たちにより本堂が再建。（八六〇年までに三度の再建）

8 善教寺（浄土真宗）

一五五四年、沼田川河口小島城で小早川隆景との戦いで戦死した小島撰津守祐直の子息若狭守三行栄が出家し、桜山の麓に草庵を建立。

9 成就寺（臨濟宗）

小早川八代貞平の菩提所として高山城下にあったが、五九九年に現在地（本町）へ移される。小早川隆景内室実父十五代正平の菩提所でもある。

10 正法寺（真言宗）

長谷町鶴ヶ東に大規模な七堂伽藍があったものを一五七三―一五九二年頃三原築城に際し館町に移され、その後福島時代に城の鬼門にあたる中之町に移される。

11 妙正寺（日蓮宗）

三原城主・浅野家の菩提所として、六七四年に米田山の麓に建立。その約五十年後、浅野四代城主忠義によって現在地（本町）に移される。

12 大島神社・厳島神社

小早川隆景が三原城築城の際、大島（天主台の位置）にあった大島稲荷を城の鎮守とし、九州の陣中にいたときに毎日祈願していた厳島神社を城中広間の庭にまつていたものを、福島時代に現在地（本町）に移される。

13 宗光寺（曹洞宗）

石階段の長い参道には六十七基の連立鳥居が並ぶ。

14 明真寺（浄土真宗）

二六八八年頃、宗光寺の塔頭の一つである多福軒の跡である現在地（本町）に創立。

15 香積寺（曹洞宗）

一四九四年、小早川十四代興平の誕生祈願により、高坂町の高山城北麓に建立。一五九三年、三原城築城に伴い、現在地に移される。

16 浄念寺（浄土真宗）

一五七三―一五九二年頃、東町に建立。一六八八―一七〇三年頃、現在地（西町）に移される。

17 寿徳寺（日蓮宗）

一四七七年、高山城の麓に建立。一五七三―一五九二年頃小早川隆景によって現在地（西町）に移される。佐分利流檀術宗家の墓所

18 大善寺（浄土宗）

高山城の麓にあり、小早川隆景が菩提所同様（信仰していた）が一五八〇年・三原城築城に伴い、現在地（西町）に移される。檀崎正員の墓（県史跡）

19 正明寺（浄土真宗）

一五九二―一五九五年頃、東町に建立。一八六一年、現在地（西町）に移される。

20 順勝寺（浄土真宗）

古くは天台宗として高山城の麓にあり、小早川氏家老田坂善慶の弟善應が出家し、一時禅宗に変わっていたのを一四七一年に真宗に改宗。

21 万福寺（真言宗）

古くから現在の宗光寺の地にあり、三原城築城の際、宗光寺を移すために現在地に移される。

22 釜山寺（真言宗）

沼田地方にあった熊野神社の本宮と新宮にそれぞれあった別当寺の一つで、古くから沼田東町釜山にあり、三原城築城に伴い、現在地に移される。

23 三原八幡宮（西の宮）

一五二〇年、仲夷天皇、応神天皇、神功皇后をまつり、西町・西野・帯の総氏神として建立されたと伝えられ、一五七三年、小早川隆景によって現在地に移される。

24 法常寺（曹洞宗）

二五八八年、竹原小早川氏の菩提所として、竹原市新庄木村山城の西側高山城に建立。その後本郷町船木の新高山山城麓を経て、二五九一年、現在地（西宮）に移される。

25 糸崎神社

神功皇后が西征の帰途に舟を寄せた際に水を献じたという故事から、この水を長井の水という。この地を長井浦または井戸崎・糸崎という。郡を水調御調と称した縁により七二九年に宇佐八幡宮の祭神をまつて建立されたと伝わる由緒ある神社。神門（市重要文化財・三原城侍屋敷門）クスノキ（市天然記念物）

26 御調八幡宮

七六九年、和氣清麻呂が大隅国に流され、その姉の広虫（法均尼）がこの地に流されたときに宇佐八幡宮をまつたことがはじまりと伝わる由緒ある神社。社叢（県天然記念物）

27 米山寺（曹洞宗）

一五三三年、天台宗の寺として建立され、二二五五年、小早川四代茂平が念仏堂を建立して氏寺とし、以来、小早川家の氏寺として栄える。

28 佛通寺（臨濟宗）

一三九七年、小早川九代春平が元中国で修行した名僧愚中周及禪師を迎えて建立された日本屈指の禪道場として知られる臨濟宗佛通寺派大本山。境内四方には堂塔伽藍が古い杉木立に囲まれて建ち並び、往時には、山内寺院八十八ヶ寺、末寺三千余寺に及ぶ広大な規模を誇った。

29 龍泉寺（曹洞宗）

七四九年、行基菩薩が諸国遊行中、忠海に泊まったときの夢の中で金童子が白滝山山頂に現われ招くのを見て山頂に登り、霊木より本尊十一面観音菩薩を作られ開山されたと いわれる寺院。

30 皇后八幡神社

一四二四年に建立され、一五〇五年、厳島神社の分霊を合祀する。

31 高山城跡・新高山城跡（国史跡）

小早川初代土肥実平が源頼朝の命により本郷の地を統括。

32 永福寺（臨濟宗）

小早川四代茂平によって建立。全盛時には数々の寺が建てられ、周辺にも十二の坊（寺）が建てていた。

33 楽音寺（真言宗）

九三八―九四七年頃、藤原純友追討のために安芸国へ下りした藤原倫実が創建したと伝わる。

34 東禅寺（真言宗）

行基菩薩により建立された楽音寺の末寺。

35 横見庵寺跡（国史跡）

一五五三年、一片の瓦が出土したことをきっかけに見えられ、三度にわたる発掘調査によって七世紀頃に建立されたことが判明した県内最古の寺院跡。

36 梅木平古墳（県史跡）

広島県最大級の横穴式石室（全長13.2m、幅3.1m・高さ4.2m）七世紀初め頃の古墳で山腹を切り開いて巨石を積み重ねて築かれている。

37 御年代古墳（国史跡）

巨大な花崗岩で築かれた7世紀頃の横穴式石室（全長10.7m）

38 貞丸古墳（県史跡）

女室が前後2室にわかれた全国的にも珍しい古墳。

39 二本松古墳（市史跡）

兵庫県産竜山石を使用して築かれた組合せ式家形石棺。

40 久井稲生神社

九三八年に創建された日本最古の伏見稲荷大社の分霊。

41 羽倉城跡

一五七〇年、小早川隆景の家臣末近四郎三郎信實によって築かれた館跡。

42 末近四郎三郎信實の墓

一五八二年、羽柴（豊臣）秀吉による備中高松城水攻めでの和陸の犠牲となり、城主清水宗治と共に切腹した小早川隆景の家臣末近四郎三郎信實の供養碑といわれている。

43 樓真寺（臨濟宗）

鎌倉時代初期、小早川初代土肥実平、二代土肥遠平親子が遠平に嫁いだ源頼朝の娘・天窓妙仏の早逝を悼み建立。

44 棕梨城（堀城）跡

鎌倉時代の居城跡。鎌倉時代初期、小早川初代土肥実平の孫三代景平・一男新庄次郎左衛門季平が沼田小早川氏から棕梨川流域に広がる沼田新莊を譲られ、棕梨氏を名乗り、季平の子・代国平の代から土着したものと、以後毛利氏、小早川氏の勢力拡大に貢献した。

45 梅木平古墳（県史跡）

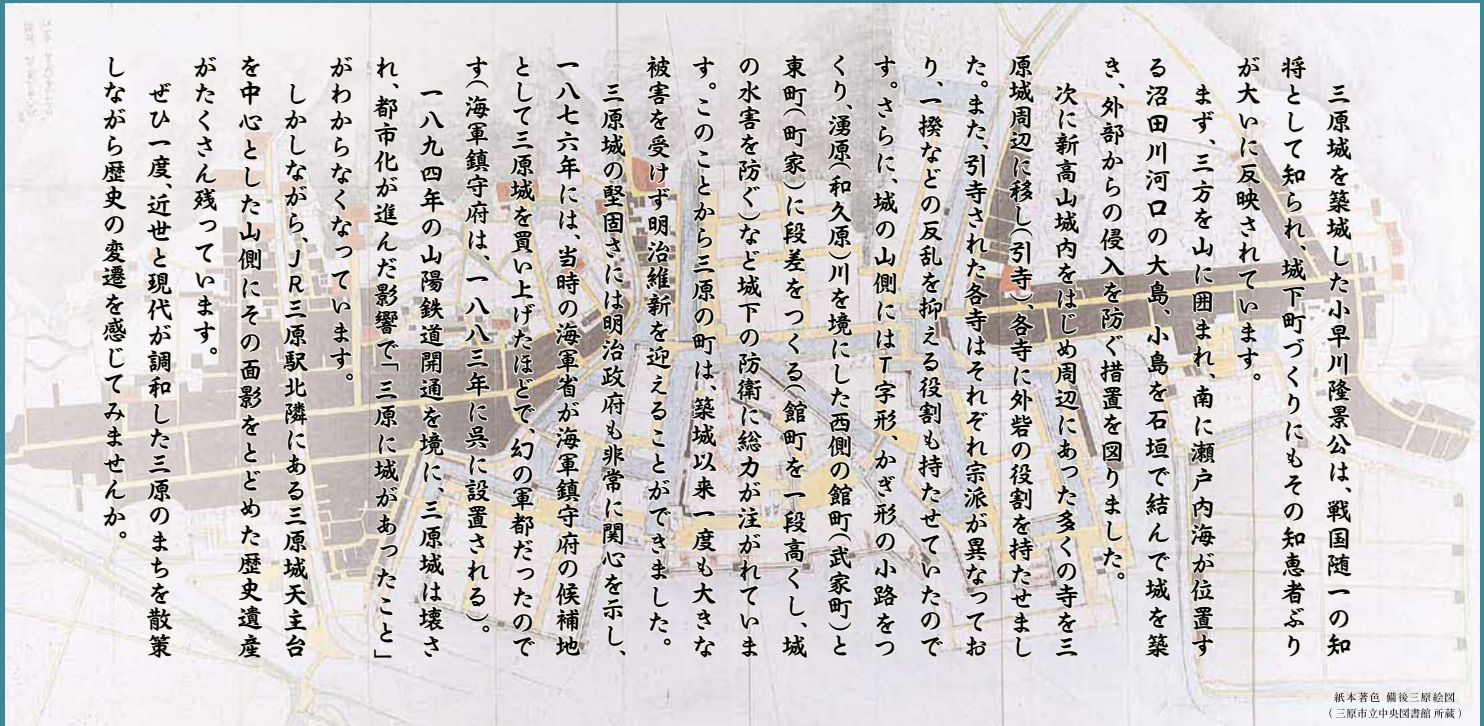
二六〇〇年、十三代景長が毛利氏に従って防長へ去り、城としての役目を終える。城跡の南東約二〇〇mに、棕梨氏の菩提寺・学心寺跡や一族のものと思われる墳墓地（いずれも市史跡）がある。

「続日本100名城」
認定
三原城・新高山城

みんなが知らない城下町がここにある

— 戦国の要塞都市 三原 —

To wander around the historical sites of Mihara city.



三原散策モデルコース

三原2時間コース（健脚向け）

隆景公像→JR三原駅備後国三原城絵図→天主台→
算木積→JR三原駅妙正寺登覧画図→船入櫓跡→
聖トマス小崎像→一番櫓跡・本丸中門跡→明善堂跡→
西大手門跡→正法寺→大島神社→妙正寺→JR三原駅

本郷 城めぐりコース

JR 本郷駅→新高山城跡→沼田本郷の天然水→JR 本郷駅

三原1時間コース

隆景公像→JR三原駅備後国三原城絵図→天主台→
算木積→JR三原駅妙正寺登覧画図→船入櫓跡→
聖トマス小崎像→一番櫓跡・本丸中門跡→明善堂跡→JR三原駅

三原2時間コース（散策向け）

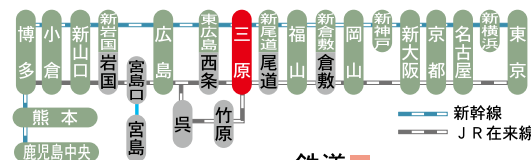
隆景公像→JR三原駅備後国三原城絵図→天主台→
鍛冶曲輪跡・算木積→神明大橋・刎→本陣跡→和久原川→
観音寺→松寿寺→極楽寺・達磨記念堂→籠怒神社→酔心酒蔵→
JR三原駅

本郷 古墳めぐりコース

JR本郷駅→横見廃寺跡→梅木平古墳→御年代古墳→
貞丸古墳→二本松古墳→JR本郷駅

「観光ボランティアガイドと一緒に三原を歩こう」 「三原ガイドの会」事務局（三原観光協会内） お問い合わせ TEL 0848-63-1481
※ 希望日・人数・料金はお問い合わせください。 さざしまを愛するボランティアガイド お問い合わせ TEL 0848-87-5004（鷺浦コミュニティセンター内）

三原へのアクセスガイド



航路

■フェリー
須波～向田（佐木島）～沢（生口島）
弓場汽船（株） ☎ 0848-67-0777

■旅客船
三原～鷺（佐木島）～重井（因島）
～土生（因島）～生名（生名島）
土生商船（株） ☎ 0845-22-1337
しまなみ海運（株） ☎ 0848-64-8527

三原～小佐木～向田～沢～瀬戸田
（有）マルト汽船 ☎ 090-2008-1777

三原～沢～瀬戸田
弓場汽船（株） ☎ 0845-22-1337

尾道駅前～新浜（尾道市）～重井～
須ノ上（佐木島）～沢～瀬戸田
（株）瀬戸内クルージング ☎ 0865-62-2856

三原～須波～大久野島
※土・日・祝日のみ運航
土生商船（株） ☎ 0848-38-9030

鉄道

JR 三原駅
JR 糸崎駅
JR 本郷駅

新幹線所要時間

東京から 約4時間
新大阪から 約1時間30分
岡山から 約30分
広島から 約20分
博多から 約1時間30分
鹿児島中央から 約3時間

路線バス

三原・本郷・久井・大和地区
芸陽バス（株） ☎ 0848-62-6241
三原・久井地区
（株）中国バス ☎ 0847-22-0755
三原地区
轄鉄道（株） ☎ 0848-85-0315

空港リムジンバス

広島空港～本郷支所前～三原駅前～三原駅前
（株）中国バス ☎ 0848-48-2211



観光のお問い合わせ

三原市観光課
☎ 0848-67-6014

三原市本郷支所 地域振興課
☎ 0848-86-1111

三原市久井支所 地域振興課
☎ 0847-32-7112

三原市大和支所 地域振興課
☎ 0847-33-0222

（一社）三原観光協会
☎ 0848-63-1481

うきしろロビー
☎ 0848-67-5877

本郷町観光協会
☎ 0848-86-5717

三原市大和町観光協会
☎ 0847-33-1875